

◆ SS 課題探究 I テーマ検討会 2025



6月5日(木)4～6校時に「テーマ検討会」(2年生理科・普通科)が行われました。テーマ設定の理由や予備実験の結果、今後の研究計画を発表し、外部からお越しいただいたアドバイザーの先生方に助言をいただきました。発表は緊張したと思いますが、仲間と協力して準備・発表・質疑応答する事で**成長**する事ができたと思います。**経験は自分の礎**になりますので、とにかく行動して**何事にもチャレンジ**していきましょう！

個別で相談中



外部からのアドバイザーの先生方を前にドキドキしながら発表



振り返りは
Formsで◎
今後の研究に
役立てよう

< 各先生方からのアドバイス >

琉球大学 山城先生 (情報・数学・数学α)

皆さんが一生懸命やっている様子が観られて面白かった。**客観的に観る**ということ意識するとなお良いと思う。

琉球大学 岡崎先生 (情報・数学・数学α)

メンバーそれぞれが考えている問題に**ズレ**がないか。一致させるために問題を明確にし、**定量的な説明**に努めて欲しい。

(株)rokuyou 下向さん (家庭科・国語・社会)

プロジェクトの**ゴールが見えなく**なっているチームがかなり多く見られた。**研究の問いを明確**に立てる必要性を感じた。

琉球大学 鶴井先生 (生物)

テーマ決めを昨年より早い時期から開始した成果が出ていた。計画がよく練られた段階の発表だったので**具体的なアドバイス**をしやすく、とてもよかった。

県立芸大 城間先生 (体育・国際)

先行研究をしっかりと読み込んでほしいと思った。つまみ食いではなくて、実験等の背景にある理論までしっかり理解して自分たちの関心と結び付けられると、探究が深まっていくのではないかな。

(株)トリム 玉那覇さん (生物)

全体的に発表の態度や声の大きさなども例年よりレベルが上がっていると感じた。あとは**検証の積み重ね**と**見せ方の工夫**に期待したい。

放送大学 下地先生 (体育・国際)

使用する**用語の定義**をチームで共有すること。特定の図書に絞り込むなど工夫が必要となると思う。**挑戦は必要**です。

琉球大学 古川先生 (物理・地学)

何を**定量**にしたいのかははっきりさせ、**条件を整えて実験**すると、チャレンジする価値ある研究になりそう。

NEW 先生方も「指導者交流会」

今年初めて先生方同士も意見交換会を行いました。

研究へのアドバイスや有益な情報を頂く事ができました。



琉球大学 前野先生 (物理・地学)

研究の**目的ははっきり**と、かつ**絞った方が良い**。モデルで実験する時は**スケール**の違いによって物理が変わる事に十分気をつけて。

ORION COSMETICS 古波蔵さん (化学)

先行研究の実験方法を参考にし、**素材の状態や条件で場合分け**をして実験をすると沢山のデータが得られる。軽石カイロが発熱しなかった理由が気になる。